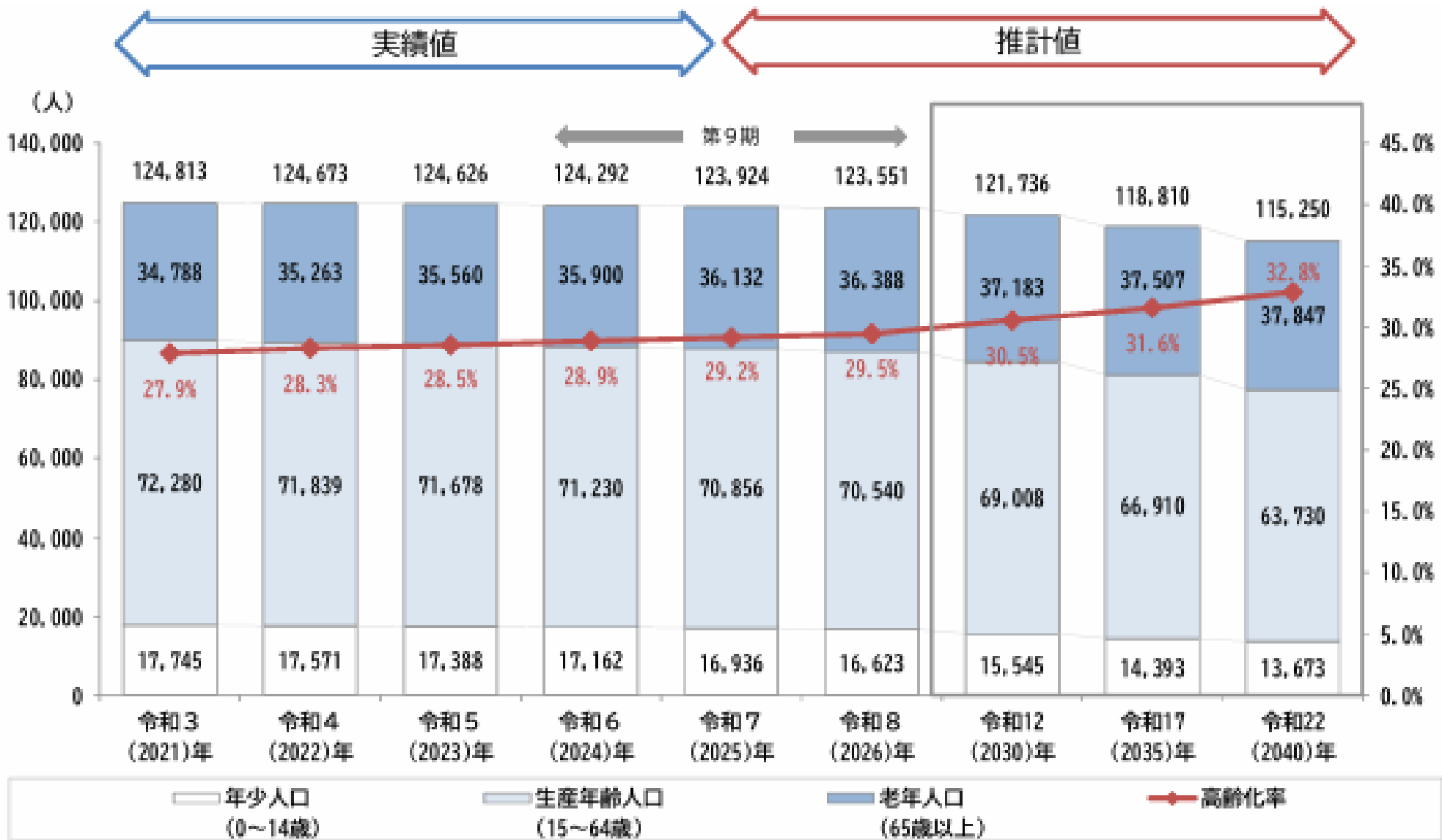


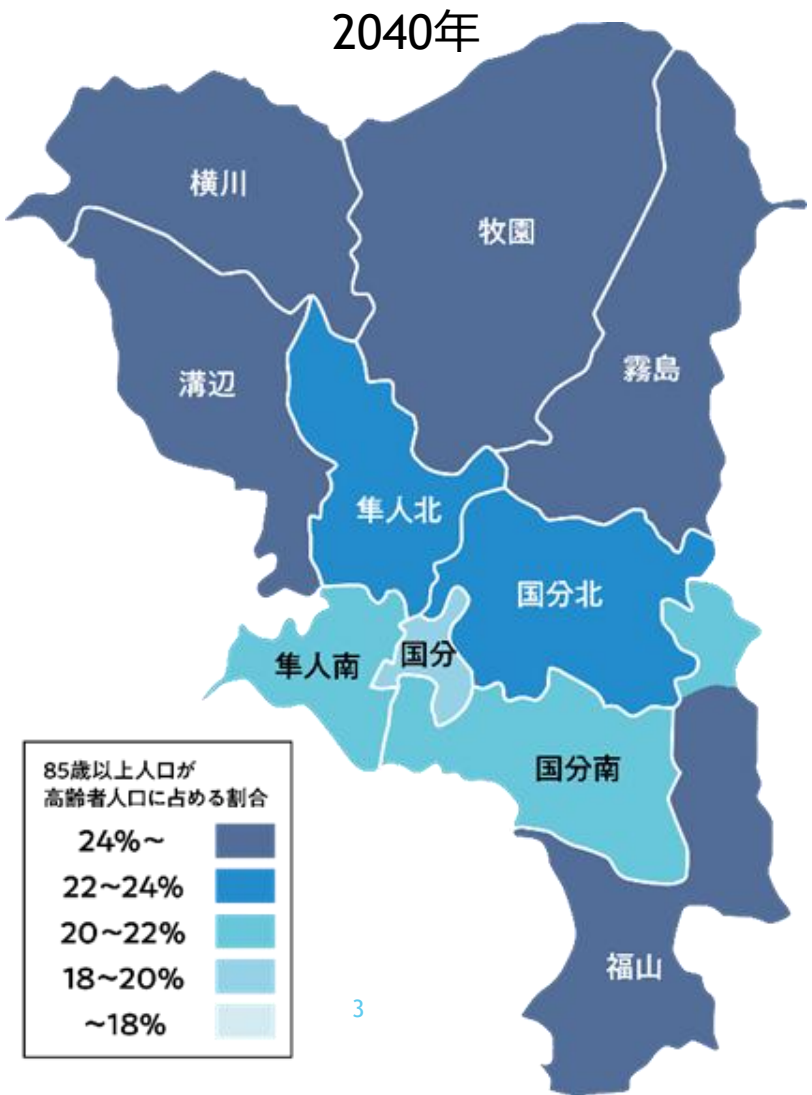
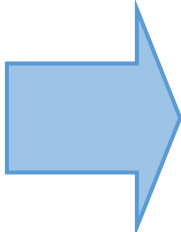
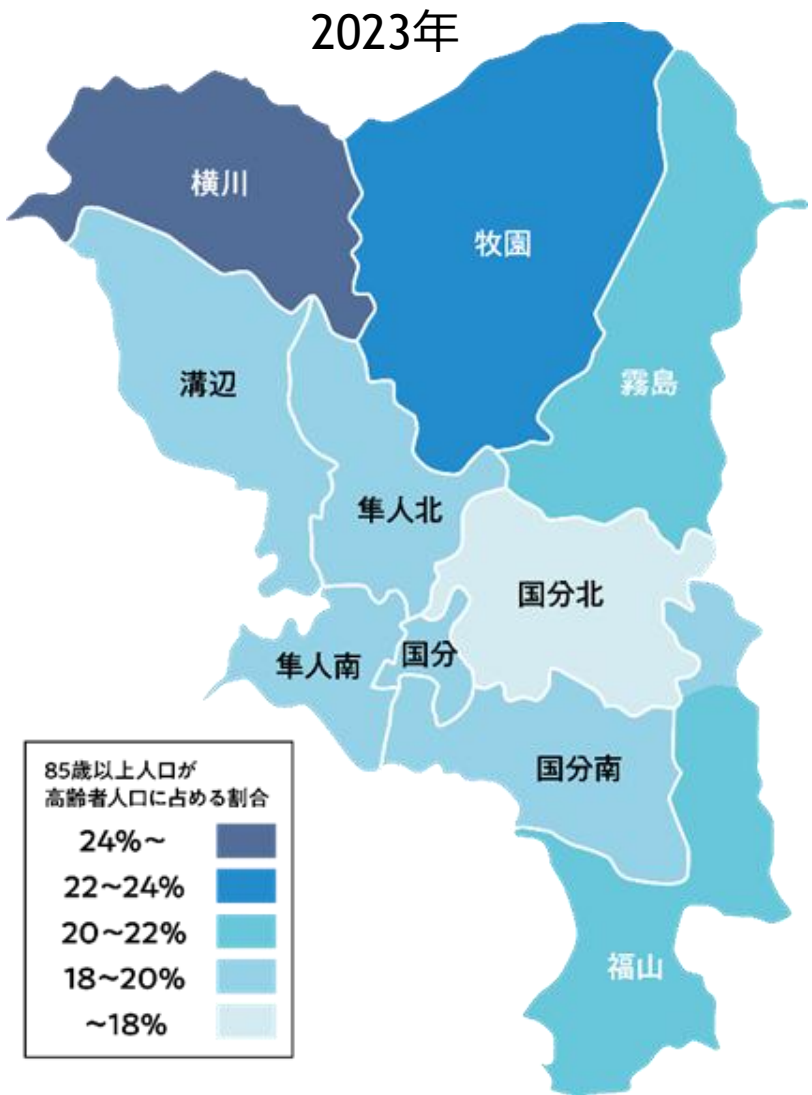
第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画 令和7年度実績及び進捗状況



霧島市の現状



圏域別85歳以上人口と2040年の予測

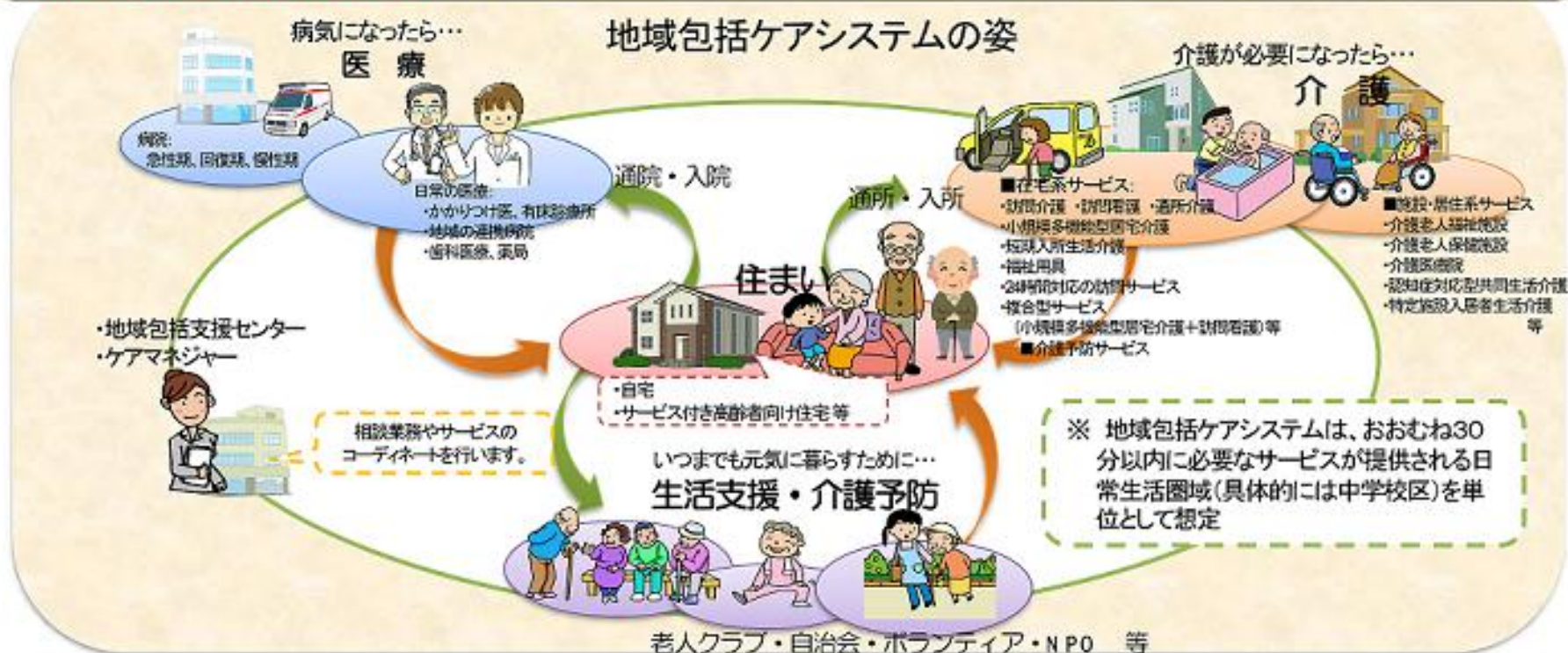


要介護（要支援）認定者数と介護給付費等の見込み



地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



基本施策① 介護予防の推進と高齢者の生きがいの充実

施策の方向性 及び 取り組むべき主な事業

◆生涯現役社会の実現と自立支援・重度化防止、健康づくりの推進

- ・地域のひろば推進事業
- ・地域リハビリテーション活動推進事業
- ・いきいきチケット支給事業
- ・介護保険ボランティアポイント事業

◆高齢者の保健事業と介護予防の推進

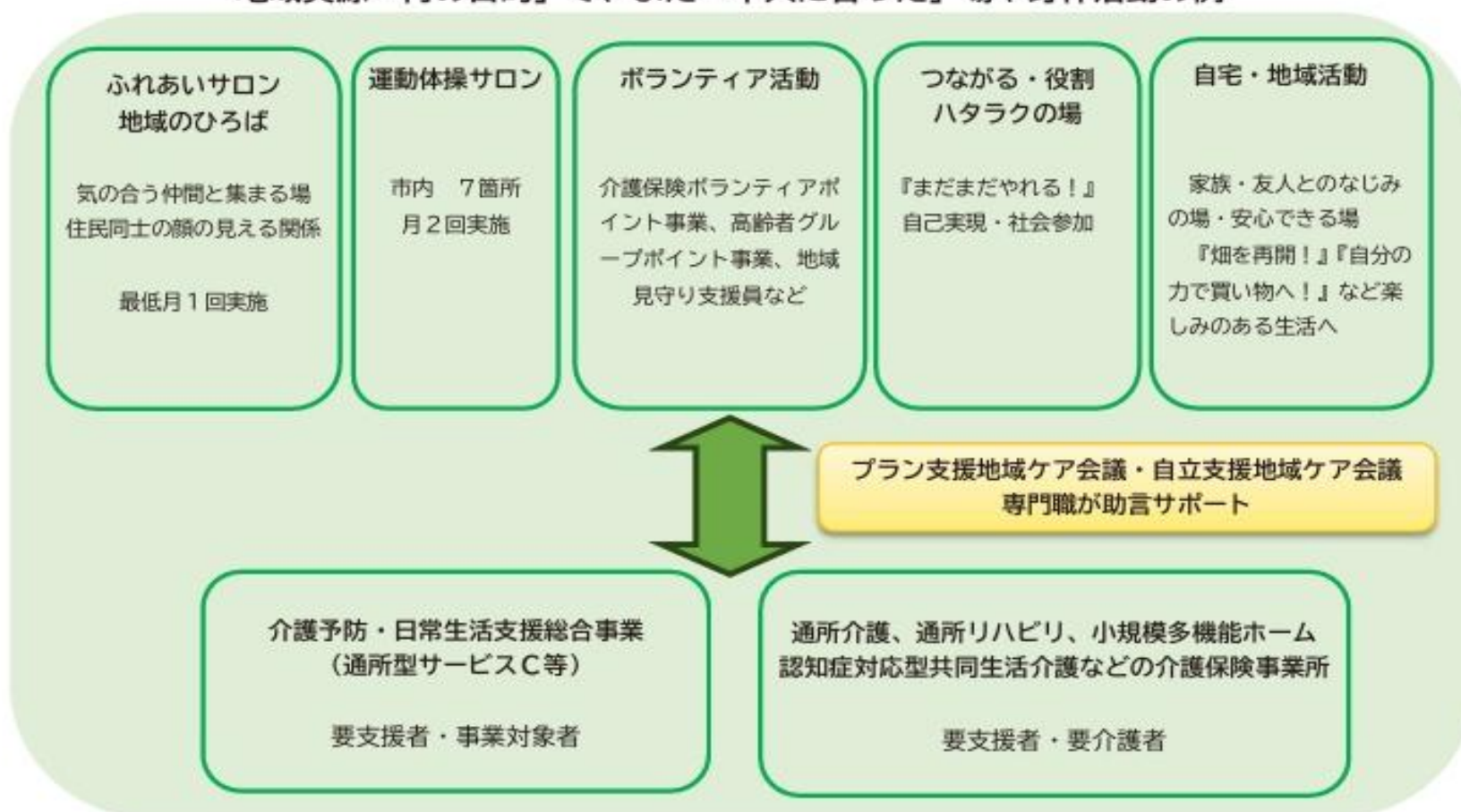
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
- ・運動体操サロン
- ・介護予防普及啓発事業（きりしま元気一番！講座）

本市が目指す介護予防の仕組み

■本人に合った場で介護予防、早期に専門職の支援を受ける仕組み

各種事業が連動し、各関係機関等が連携する介護予防の仕組みの実現を目指し、市民の自立支援・重度化防止、健康づくりに取り組みます。

地域資源「何の目的」で、また「本人に合った」場や身体活動の例



介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実

事業	令和6年度	目標	令和7年度
地域のひろば推進事業（実施箇所数）	118か所	130か所	116か所
地域リハビリテーション活動支援事業 （リハビリ専門職派遣回数）	38回	100回	38回
いきいきチケット支給事業（はり・きゅう・あん摩）	17,070部	17,000部	17,133部
〃（温泉・プール・バス・タクシー）	19,706部	19,500部	19,972部
介護保険ボランティアポイント事業（登録者数）	239人	400人	267人
運動体操サロン（参加者実数）	210人	300人	293人
介護予防普及啓発事業	81回	100回	73回

地域のひろば推進事業

公民館などの地域の中で誰でも集まることができる場所で、地域住民が主体的かつ定期的に健康づくりや介護予防に取り組むことができるよう支援することを目的に補助金の交付等を行う事業です。

○対象団体

地区自治公民館または自治会（複数自治会等による合同実施も可能）

○対象となる活動

高齢者を含む集いの場

健康体操、料理教室等、健康づくりや介護予防に関する活動

○補助金額

自治会等の規模や開催頻度等に応じて、22,500円～100,000円

地域のひろば推進事業

令和7年度 実施箇所数：116箇所

圏域	自治会自主運営	自治会委託運営	公民館自主運営	計
国分北	12	0	2	14
国分	7	0	4	11
国分南	8	0	8	16
溝辺	0	0	6	6
横川	4	4	1	9
牧園	17	0	2	19
霧島	2	0	2	4
隼人北	7	1	3	11
隼人南	16	0	0	16
福山	3	0	7	10
計	76	5	35	116

地域リハビリテーション活動支援事業

<事業概要>

- ・リハビリ専門職の居宅訪問、施設支援
- ・地域ケア会議の助言者
- ・きりしま元気一番講座講師
- ・長寿介護課にリハビリ専門職を配置（理学療法士1名：委託）

※R2年度からR4年度まで週4日、R5年度からR6年度まで週2日、R7年度から週1日

<委託先>

- 霧島どんサポートの会
- Smile Life



経年実績

担当専門職	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	派遣先及び派遣回数		派遣先及び派遣回数		派遣先及び派遣回数	
	個人宅	事業所	個人宅	事業所	個人宅	事業所
理学療法士	7回	7回	2回	5回	1回	6回
作業療法士	0回	3回	0回	2回	0回	2回
言語聴覚士	2回	4回	1回	1回	0回	3回

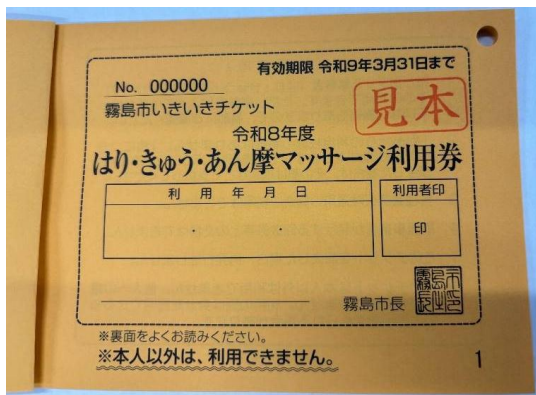
いきいきチケット支給事業

高齢者等の健康保持と福祉増進を目的として交付します。（令和7年度交付対象者数：33,105人）

温泉・市営プール・バス・タクシー利用券
（交付者数：19,972人、交付率：60.33%）



はり・きゅう・あん摩マッサージ利用券
（交付者数：17,133人、交付率：51.75%）



○対象者

- ・満70歳以上の方
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方

○チケット金額

- ・温泉・市営運動施設・バス・タクシー利用券
4,000円分（1枚50円×80枚）
- ・はり・きゅう・あん摩マッサージ利用券
5,000円分（1枚500円×10枚）

○使用期限

- ・交付年度の3月31日まで

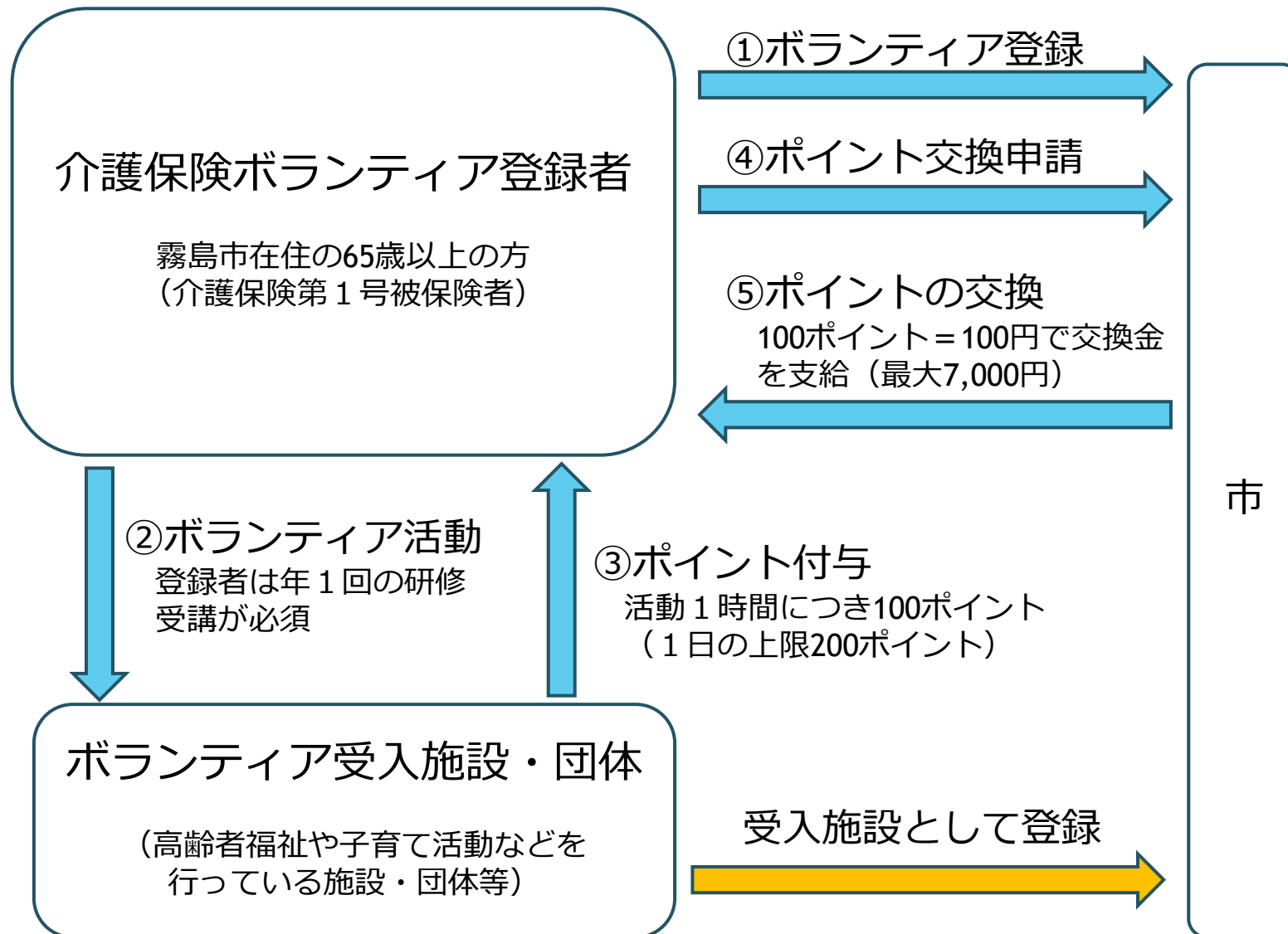
○受領方法など

- ・対象者本人の印鑑が必要。（代理受領も可）
- ・4月下旬に各地区公民館にて交付。その後は年間を通じて本庁及び各総合支所福祉担当窓口で交付。

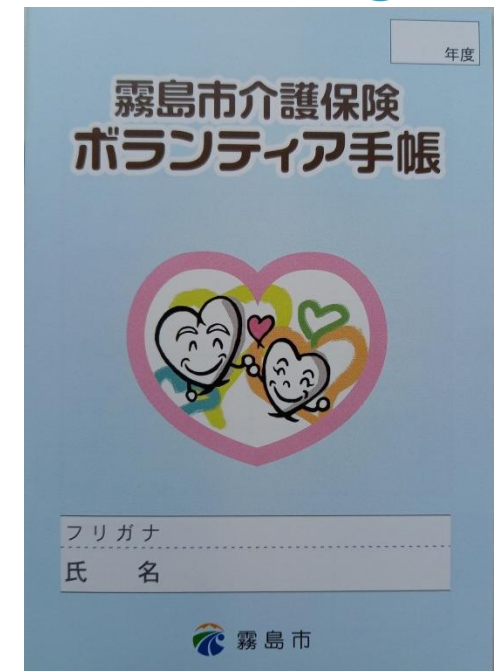
令和7年度 いきいきチケット交付実績

チケット種別	交付者数・交付率 (33,105人中)	交付対象者 利用率	交付者 利用率	利用金額
温泉	19,972人 (60.33%)	30.48%	50.53%	40,367,450円
市営プール		1.00%	1.66%	1,323,300円
バス（デマンド含む）		3.06%	5.06%	4,046,050円
タクシー		5.99%	9.93%	7,934,900円
はり・きゅう・あん摩	17,133人 (51.75%)	13.71%	26.48%	22,688,000円

介護保険ボランティアポイント事業



受入施設側が、
ボランティア手帳
にスタンプ
を押します！



ボランティア受入施設・団体等（令和7年8月末現在）

地区	高齢者施設	地域のひろば	いきいきサロン	教育保育施設	小学校	児童クラブ	子育てサロン	その他児童関係	障害福祉施設	その他	計
国分	74	38	2	2	3	1	0	3	0	1	124
溝辺	7	6	2	0	1	1	0	0	0	0	17
横川	3	9	4	0	1	0	0	0	0	0	17
牧園	5	17	0	1	1	0	0	0	0	0	24
霧島	7	4	0	2	2	0	0	0	0	0	15
隼人	27	27	16	1	1	1	0	0	0	0	73
福山	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	13
合計	126	111	24	6	9	3	0	3	0	1	283

運動体操サロン

令和8年度(前期) みんなで楽しく健康づくり
運動体操サロン

座って出来る運動

参加費無料



各会場
定員30人!

※事前申し込みが必要です

- 1) 対象者: 足腰が弱ってきた、歩行が遅くなってきた、外出頻度が減ってきたなどの身体の弱りを感じる方
- 2) 参加条件: 65歳以上の方であれば、どなたでもご利用頂けます
- 3) 持ち物: 飲み物、室内履き(牧園会場のみ)、タオル
- 4) 開催会場

地区	会場(住所)	開催日時	問い合わせ先
溝辺	溝辺総合支所 1階大研修室 (霧島市溝辺町有川340)	月2回 月曜日 10時~11時	溝辺総合支所(市民生活課) TEL:59-2923
横川	横川健康温泉センター (霧島市横川町中ノ254-1)	月2回 火曜日 10時~11時	横川総合支所(市民生活課) TEL:72-0513
牧園	牧園農村活性化センター (霧島市牧園町宿窪田813-11)	月2回 火曜日 14時~15時	牧園総合支所(市民生活課) TEL:76-2713
霧島	霧島公民館 (霧島市霧島田口500)	月2回 水曜日 10時~11時	霧島総合支所(市民生活課) TEL:57-0242
福山	福山活性化センター (霧島市福山町福山6268-50)	月2回 金曜日 10時~11時	福山総合支所(市民生活課) TEL:56-2113

※講話開催日は、20分程延長させていただきます。
※動きやすい服装でお越しください。

令和8年度(前期) みんなで楽しく健康づくり
運動体操サロン

座って出来る運動

参加費無料



各会場
定員30人!

※事前申し込みが必要です

- 1) 対象者: 足腰が弱ってきた、歩行が遅くなってきた、外出頻度が減ってきたなどの身体の弱りを感じる方
- 2) 参加条件: 65歳以上の方であれば、どなたでもご利用頂けます
- 3) 持ち物: 飲み物、室内履き(国分①・国分②・単人①・単人②会場のみ)、タオル
- 4) 開催会場

地区	会場(住所)	開催日時	問い合わせ先
国分①	いきいき国分交流センター 研修室2 (国分重久19)	月2回 木曜日 14時~15時	霧島市役所 長寿介護課 TEL:64-0704
国分②	サンあもり 第2研修室 (単人町見次1371)	月2回 木曜日 14時~15時	
国分③	霧島市国分総合福祉センター 3階大会議室 (国分中央3丁目33-10) 駐車場: お祭り広場駐車場	月2回 金曜日 14時~15時	
単人①	姫城地区公民館 大会議室 (単人町姫城2丁目206) 駐車場: 姫城公園利用可	月2回 火曜日 14時~15時	
単人②	小野地区公民館 研修室 (単人町小田2468-3)	月2回 水曜日 14時~15時	

※講話開催日は、20分程延長させていただきます。
※動きやすい服装でお越しください。

福山活性化センター



横川温泉センターセンター



運動体操サロン

経年実績

実施圏域	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実施回数	参加人数 (延)	実施回数	参加人数 (延)	実施回数	参加人数 (延)
溝辺	18回	262人	20回	424人	20回	532人
横川	18回	282人	18回	213人	19回	217人
牧園	19回	301人	19回	163人	20回	240人
霧島	19回	421人	19回	388人	20回	476人
福山	17回	244人	20回	275人	19回	411人
国分南・国分・国分北	12回	85人	19回	456人	19回	418人
隼人南・隼人北	8回	103人	20回	474人	19回	257人

介護予防普及啓発事業（きりしま元気一番！講座）

令和 8 年度版

きりしま元気一番！講座 のご案内

地域のひろばや老人クラブの集まりなど地域の集いの場に専門職の講師を派遣します。講座は 1 時間程度で、講師代は無料です。



<講座内容> ※講座は、最大 3 講座までの申込となります。ご了承ください。

講座 番号	講座内容	概要	担当講師
①	「あなたが大切にしたいこと 伝えていませんか？」 ～私のアルバムを知らう～	これまでの人生を振り返り、これからの人生を 考えるきっかけにしてみませんか？ ※希望者に「私のアルバム」を記入していただきます	霧島市地域包括支援センター 認知症地域支援推進員
②	「誰でも認知症になる時代」 ～新しい認知症観とは？～	誰でも認知症になりえる時代。多くの認知症当 事者が前向きに生活しており、その姿を発信し ています。当事者の思いを知ることで、認知症 のイメージの変化や、これからの生き方のヒント になるかもしれません。	霧島市地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 認知症初期集中支援チーム員
③	ちょい足しフレイル予防で 元気な身体づくり	今の生活をちょいっと見直し、ちょい足して元気 生活を続けましょう！	霧島市地域包括支援センター 保健師
④	こころも身体も元気になる 食事の工夫	1 日 3 食しっかり食べる大切さと、たんぱく源 となる食品を無理なくとり入れられる工夫や 簡単メニューなどをお伝えします。	霧島市役所 長寿介護課 管理栄養士
⑤	口腔ケアと健口体操で おいしく食べてフレイル予防	口腔ケアと健口体操の習慣で、かむ力と飲み込 む力を強くして、おいしく食べて口から健康な 心と身体を作りましょう！	霧島市役所 長寿介護課 歯科衛生士

※⑥～⑩講座は、外部講師となるため、各団体いずれか 1 講座のみの申込となります。ご了承ください。

⑥	薬剤師に聞く 何種類以上の薬を飲んで いれば体に毒？ ※上記以外にお聞きになりたい内容が ある際は、事前にお知らせください。	高齢者ではさまざまな疾患を合併し、お薬が増 えていくという現状が問題となっています。 あなたのお薬は何種類？薬って減らせるの？ 薬剤師にいろいろ聞いてみましょう。 ※お薬手帳をお持ちください。	始良地区薬剤師会
⑦	お口の機能と筋肉の意外な関係	飲み込みや発話など、お口の機能と筋肉の関 係、またその鍛え方についてお伝えします。	霧島どんサポートの会 言語聴覚士
⑧	体力を知って健康づくり	体力測定を行います！ ご自分の身体状況を知るきっかけとして活用 ください。	霧島どんサポートの会 理学療法士
⑨	自分でできる骨盤底筋体操 ～頻尿・尿漏れさようなら～	尿漏れや歩行能力にも関連のある骨盤底筋群 に対する運動とお話をさせていただきます。 ※ハンドタオルをお持ちください。	霧島どんサポートの会 理学療法士
⑩	毎日気軽に脳トレーニング	脳と日常生活の関係について、脳トレを実践し ながらお伝えします。	霧島どんサポートの会 作業療法士

※日程によっては、講師の都合上、ご希望に添えない場合があります。

※地域のひろば以外のグループについては、参加者名簿を添付してください。

【お問い合わせ先】 〒899-4394 霧島市国分中央三丁目 45 番 1

霧島市役所 長寿介護課 長寿福祉グループ ☎ 64-0704 ※申込書は裏面です。

自分でできる骨盤底筋体操
講師：霧島どんサポートの会（理学療法士）



薬剤師に聞く！
何種類以上の薬を飲んでいれば身体に毒？
講師：始良地区薬剤師会



介護予防普及啓発事業（きりしま元気一番！講座）

経年実績

道専門職	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
保健師	16 回	213 人	10 回	164 人	8 回	87 人
管理栄養士	8 回	91 人	11 回	110 人	10 回	131 人
歯科衛生士	7 回	98 人	6 回	62 人	5 回	76 人
認知症地域支援推進員 認知症初期集中支援チーム	11 回	164 人	19 回	241 人	17 回	245 人
理学療法士	21 回	295 人	14 回	179 人	15 回	219 人
作業療法士	9 回	99 人	8 回	72 人	6 回	66 人
言語聴覚士	5 回	91 人	5 回	69 人	5 回	80 人
薬剤師	5 回	49 人	8 回	96 人	7 回	87 人
合 計	82 回	1,100 人	81 回	993 人	73 回 ²⁰	991 人

基本施策② 高齢者の生活支援サービスの充実

施策の方向性 及び 取り組むべき主な事業

◆在宅生活を支える支援体制の拡充

- ・ 地域ケア会議推進事業
- ・ 在宅医療、介護連携推進事業
- ・ まちかど介護相談所、まちかど丸ごと相談所設置事業
- ・ 成年後見人制度利用支援事業
- ・ 家族介護用品支給事業
- ・ 高齢者福祉手当支給事業
- ・ 地域生活配食事業

◆居住の確保と安心して生活できる体制

- ・ 緊急通報装置整備事業

在宅生活を支える支援体制の拡充

事業	令和6年度	目標（見込）	令和7年度
地域ケア会議推進事業（個別） 開催	82回	156回	92回
在宅医療・介護連携推進事業（入院時情報提供率）	調査中	95%	87.6%
まちかど介護相談所・まちかど丸ごと相談所設置事業	45か所	—	45か所
成年後見利用支援事業（市長申し立て件数）	6件	15件	2件
家族介護用品支給事業（件数）	85件	100件	82件
高齢者福祉手当事業（受給者数）	73人	80人	81人
地域生活配食事業	123,151食	100,000食	123,840食

地域ケア会議推進事業（R8）

国分類	地域ケア個別会議		地域ケア推進会議
名称	プラン支援地域ケア会議	個別地域ケア会議	地域包括支援ネットワークケア推進会議
開催	年6回（7月～12月）	随時	年2～3回（圏域毎）・随時
場所	国分公民館 国分総合福祉センター	地域包括支援センター	公民館など
出席者	【事例提供者】 居宅介護支援事業所 【助言者】 医師、歯科医師、薬剤師、主任介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、歯科衛生士、管理栄養士、福祉用具専門相談員、生活支援コーディネーター、霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー、社会福祉士	支援を必要とする高齢者の直接の関係者	圏域ごとの課題に応じた参加者。 【地域関係者】 公民館長、民生委員等 【専門職】 医療・介護・福祉専門職、関係機関（行政、社会福祉協議会）等
目的	利用者のQOL向上を目指したケアマネジメント支援及び自立支援、重度化防止や重症化予防	困難事例課題の解決、実態に即した有効な支援方策の検討	地域づくり、ネットワークづくり、地域課題の解決、個別ケースの検討
内容	ケアプランを多機関・多職種が多様な支援から協議・助言を行う。 ※1回あたり2事例検討	- 情報の共有、整理 - 問題点の抽出 - 支援方策の検討 - 役割分担	- 地域資源の情報交換、共有 - 地域課題の発見、共有 - 地域課題の解決策の検討及び役割分担 - 個別ケースの検討及び役割分担

経年実績

項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	回数	検討数	回数	検討数	回数	検討数
個別地域ケア会議(随時)	79 回	79 件	66 回	66 件	92 回	92 件
プラン支援地域ケア会議(月1回)	6 回	12 件	6 回	10 件	6 回	11 件
自立支援地域ケア会議(月2回)	10 回	22 件	10 回	25 件	5 回	10 件
通所型サービスC 自立支援地域ケア会議(随時)	23 回	47 件				
新規申請者地域ケア個別会議(週1回)	18 回	32 件				
地域包括支援ネットワーク推進会議	11 回		11 回		20 回	

在宅医療・介護連携推進事業

高齢化が進展し、医療と介護の両方のニーズを有する高齢者の増加が予測される中で、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を図るために、始良地区医師会に事業を委託し、始良・伊佐地域振興局の支援を受け、霧島市、始良市、湧水町の2市1町に属する自治体及び関係機関と広域的に事業を展開していきます。

【令和7年度の取組】

- ① ACPツール・リーフレットの作成
- ② ACP住民向け啓発講演会
- ③ 在宅医療・介護・福祉研修会
- ④ 入退院支援ルールアンケート（8月実施分を計上）
- ⑤ 医療・介護合同会議

まちかど介護相談所・まちかど丸ごと相談所設置事業

本市では、市内の介護事業所等の職員を対象に専門研修を実施し、本市独自の資格である「霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー（略称LSW）」を養成・任命しています。

（霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカーは、毎年研修を受講することで資質を高めながら、自主的に地域に密着した相談・生活支援体制の構築を図るための活動を行っています。）

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカーの在籍する事業所は、霧島市地域包括支援センターの連絡所として、身近な地域の福祉生活相談に応じるための相談所を設置（標榜）することができます。

まちかど介護相談所

（LSWが在籍し、介護相談ができる）



まちかど丸ごと相談所

（LSWスーパーバイザーが在籍し、介護・障害・子育て相談ができる）



令和8年度の設置状況

令和8年4月現在

	国分北	国分	国分南	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人北	隼人南	福山	合計
まちかど 介護 相談所	3	2	2	3	2	0	0	4	1	0	17
まちかど 丸ごと 相談所	4	10	7	2	0	0	1	4	3	3	34
合計	7	12	9	5	2	0	1	8	4	3	51

家族介護用品支給事業

在宅で高齢者等を介護している家族に対して、介護用品購入のための給付券を支給する事業です。

○対象者（申請者）

寝たきりの要介護3以上、または、身体障害者手帳2級以上、または、療育手帳A2以上の方を在宅介護している家族で、要介護者と介護者が両世帯ともに市民税非課税世帯の方。
要介護3の方は、別途条件あり。

○対象品目および購入店舗

おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋、清拭剤（おしり拭き等）、ドライシャンプーの5品目を市と契約している薬局・薬店で購入できる。

○支給額

- ・ 65歳以上で要介護4以上：月額6,000円分
- ・ 左記以外：月額4,000円分

令和7年度実績

受給者数			金額		
全体	高齢者分	障がい者分	全体	高齢者分	障がい者分
93人	82人	11人	3,199千円	2,855千円	344千円

高齢者福祉手当支給事業

在宅で寝たきり高齢者または重度認知症高齢者を長期（6か月以上）にわたり介護している方に、福祉手当を支給する事業です。

○対象者（申請者）

65歳以上で要介護3以上の寝たきり高齢者、または、要介護2以上の重度認知症高齢者と起居を共にし、6か月以上にわたり在宅介護している家族。

（※申請の6か月前までに1か月以上入院をしていないこと）

○支給額

月額3,000円（10月と翌年度4月に支給（R8年度から））

○申請方法

長寿介護課に申請書を提出（支給月に電話にて現況確認を実施）

令和7年度実績

受給者数	金額
81人	1,551千円

地域生活配食事業

日常的な見守りが必要な高齢者に対して、配食サービスを活用し、栄養改善及び安否確認等を行う事業です。毎日2食を基本に利用者に応じた配食を行います。

○対象者

下記に該当する方のうち、買い物・食事づくり等が困難で、かつ、ひとり暮らし又は高齢者及び障がい者のみの世帯に属する方

- ・65歳以上の方（要介護認定は必須としない）
- ・65歳未満の手帳所持者及び自立支援医療利用者のうち、要介護認定がある方

○利用料（自己負担額）

対象者等の収入等に応じて、250円、400円、550円

令和7年度実績

利用者実人数（月平均）	総配食数
325人	123,840食

基本施策③ 住民参加と互いに支え合う地域福祉の推進

施策の方向性 及び 取り組むべき主な事業

◆認知症になっても安心して暮らせる体制の構築

- ・ 認知症カフェ
- ・ 認知症高齢者等見守りネットワーク事業
- ・ 私のアルバム等の活用、普及啓発
- ・ 認知症高齢者早期発見促進事業
- ・ 若年性認知症の人への相談支援
- ・ 霧島市認知症専門部会
- ・ 認知症初期集中支援推進事業
- ・ 認知症サポーター養成
- ・ 認知症ケアパス

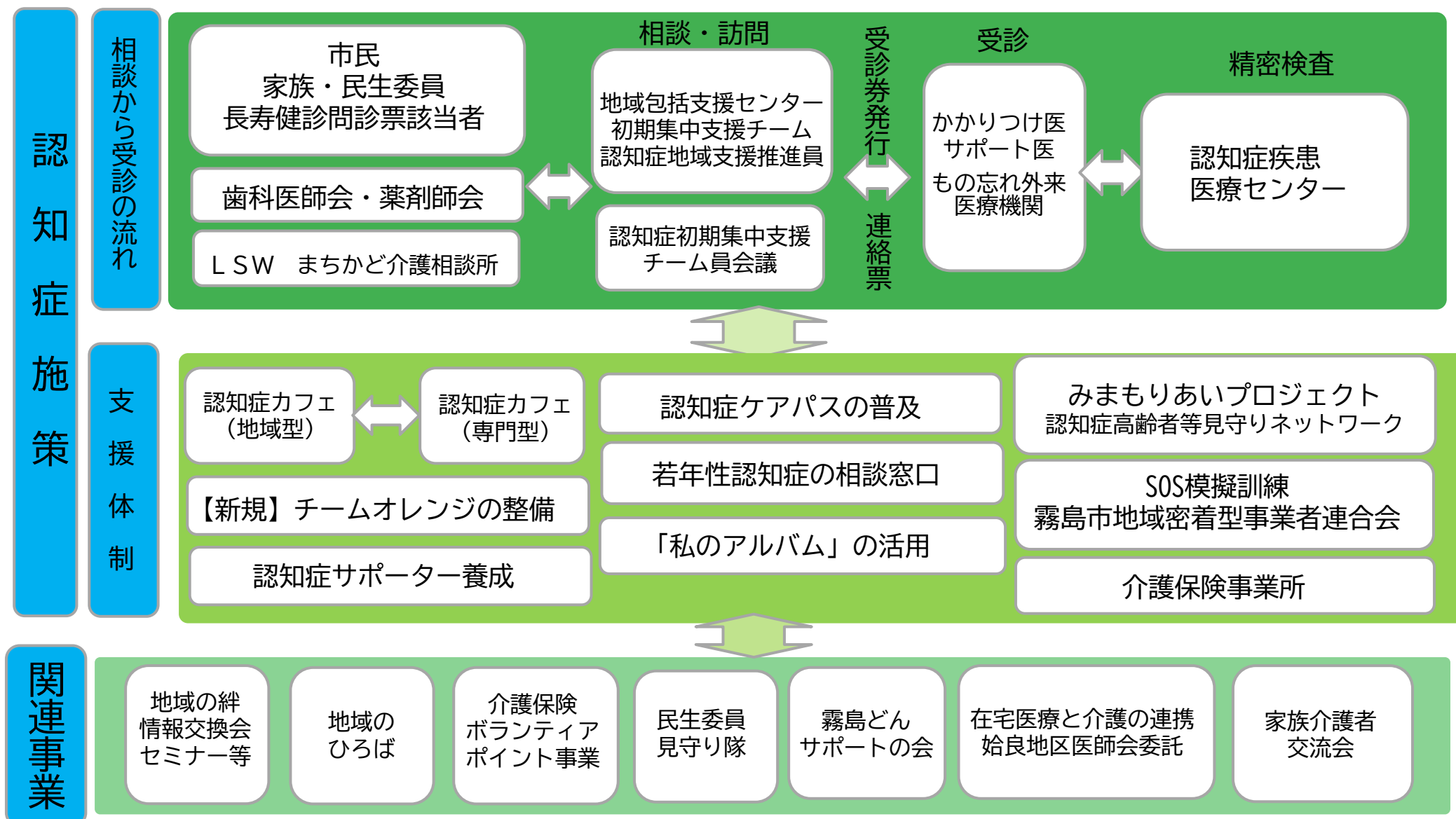
◆互助の仕組みによる支え合い、社会参加の仕組みづくり

- ・ 霧島市地域包括ケア、ライフサポートワーカー設置事業
- ・ 地域見守り支援事業

住民参加と互いに支え合う地域福祉の推進

事業	令和6年度	目標（見込）	令和7年度
認知症カフェ	4箇所	6箇所	6箇所
私のアルバム等の活用・普及啓発（R3からの累積）	740部	1,500部	864部
認知症高齢者早期発見促進事業 受診券発行数	6枚	40枚	8枚
認知症初期集中支援チーム員会議 相談数	101件	120件	116件
若年性認知症の人の相談件数	1件	10件	4件
認知症サポーター養成数（累積）	19,359人	19,000人	20,385人
認知症高齢者等見守りネットワーク会議	2回	2回	2回
〃 ICTの活用 みまもりあいアプリ ダウンロード数	2,031	1,800	2,257
霧島市認知症専門部会 開催数	2回	2回	2回
認知症ケアパス 設置個所数	385箇所	400箇所	385箇所
霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー 地域の方からの相談を受けた割合	-	60%	
高齢者見守り支援事業 支援員数	329人	400人	322人

認知症施策等支援体制



認知症カフェ（メモリーカフェ）

認知症の人とその家族、また、地域住民や専門職など誰もが気軽に集うことができる場所となり、認知症の人とその家族が安心して過ごすための地域支える出発点となるもの。

専門型	「メモリーカフェ野の花」 松下病院 認知症疾患医療センター（隼人）
地域型	「メモリーカフェみそめ」 佐藤医院 デイサービスみそめの里（溝辺）
	「メモリーカフェ かふえCOTTON」 小規模多機能ホームまーる（国分）
	「メモリーカフェ みんなの家」 医療法人大成会 居宅介護支援事業所牧園（牧園）
	「メモリーカフェ ゆめ」 合同会社 紡ぐ（隼人）
	「メモリーカフェ吉日」 日々是吉日 フリースペースSaone（国分）



【チームオレンジ】

認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み。



令和7年度にメモリーカフェを拠点としたチームオレンジを3箇所設置

認知症高齢者等見守りネットワーク事業

認知症の人が住み慣れた場所で安心して住み続けられるように、地域の関係機関や地域住民が理解しあい、力を合わせて、認知症の人等を支援する仕組みをつくります。
また、認知症高齢者等が行方不明になった際、みまもりあいアプリ等のICTを活用した検索やその他効果的な仕組みづくりを目指します。

【令和7年度 認知症高齢者等見守りネットワーク事業情報交換会】

○ 第1回

- ・開催日：令和7年7月23日(水)
- ・参加者：霧島市地域密着型サービス事業者連合会
居宅介護支援事業所、通所介護
認知症対応型通所介護
小規模多機能型居宅介護事業所
認知症対応型共同生活介護
霧島市地域包括支援センター、長寿介護課
- ・内 容：① 霧島市の現状及び事業説明 ②情報交換

○ 第2回

- ・開催日：令和8年1月21日(水)
- ・参加者：居宅介護支援事業所、通所介護
認知症対応型通所介護
小規模多機能型居宅介護事業所
認知症対応型共同生活介、
霧島市地域包括支援センター、長寿介護課
- ・内 容：今後の事業展開や多様な関係機関との連携強化等について

難聴対策

令和6年9月に「高齢社会対策大綱」が策定され、加齢に伴う難聴等感覚器機能の低下の早期スクリーニングや定期的ケアの重要性について、普及啓発を図ることが示されたため、令和6年度から難聴に関する取組みを開始した。令和6年度は、主に今後の難聴対策の進め方について協議を行い、霧島市健康福祉まつりでは、NPO法人主催で難聴に関するブース出展し、普及啓発を図った。

【目的】

難聴に対して、正しい理解の普及啓発及び早期発見・早期対応を行い、人とのコミュニケーションや社会活動への参加を促進することで、高齢者の社会的孤立を防ぐとともに、フレイルや認知症を予防する。

【令和7年度の取組】

- ①市民向け難聴講話を実施（運動体操サロン参加者）
 - ・開催数：9回、参加者数：155人
- ②広報誌（9月上旬号）に「難聴と認知症」について掲載
- ③関係者向け講演会の開催
 - ・日時：令和7年10月14日
 - ・講師：地域リハビリテーション広域支援センター 加治木温泉病 技士長 原口友子先生
 - ・対象者：民生委員、介護保険サービス等提供事業所従事者、地域包括支援センター職員、市職員
- ④霧島市健康福祉まつりに難聴に関するブース出展

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー設置事業

本市独自の資格である「霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー（略称LSW）」は、下記の研修を受講することでその資質を高めながら、地域に密着した相談・生活支援体制の構築を図るための活動を自主的にを行っています。

- 養成講座（隔年実施。50時間以上でLSWに任命）
対象者は、市内の介護保険事業所等に2年以上勤務する社会福祉士、介護福祉士、ケアマネージャー等。
LSWは「**まちかど介護相談所**」を設置（標榜）できる。
- 現任研修（毎年実施。20時間以上の受講でLSWを継続できる）
- 企画研修（1年毎に「障害者福祉研修」と「児童福祉研修」を開催）
いずれかを修了した者は「LSWマスター」。
両方修了した者は「LSWスーパーバイザー」となり「**まちかど丸ごと相談所**」を設置（標榜）できる。

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー登録者数（令和8年4月現在）

圏域	国分北	国分	国分南	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人北	隼人南	福山	その他	合計
LSW数	8	18	10	5	2	0	1	8	4	5	3	64

地域見守り支援事業

高齢者や障がい者など、援護を必要とする人々への声かけや安否確認等のため、地区自治公民館が設置する地域見守り支援員（見守り隊）の活動に対し、1月当たり1,000円を支給します。
（在宅福祉アドバイザーをR2に改正したもの）
地域見守り支援員の活動は、遠くからの目視での見守りや、必要に応じては民生委員と連携するなど、地域の実情に応じて行っている。

令和8年度 地域見守り支援員制度の設置状況

令和8年6月時点

	国分北	国分	国分南	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人北	隼人南	福山	合計
公民館数	6	5	8	8	4	6	2	2	2	4	47 (1自治会)
支援員数	46	27	32	21	20	53	4	43	37	29	312